

平成 30 年 10 月  
(一社)日本民間放送連盟

周波数再編アクションプラン（平成 30 年度改定版）（案）に対する意見

- 「重点的取組 II 自動運転及びConnected Car社会の実現に向けた対応」について
- ・ 今回示されたアクションプラン改定案には、“既存の I T S 用周波数帯（760MHz帯等）に加えて、国際的に調和の取れた周波数帯（5.9GHz帯）も念頭に置き、同周波数帯の既存無線システムに配慮しながら、自動運转向け通信技術の導入を図る場合に必要となる既存無線システムとの周波数共用の可能性等について、平成 31 年度までを目途に検討する”と新たに記載されました。
  - ・ 5.9GHz帯では放送事業用の既存無線システムとして、報道取材・番組制作に欠かせない素材伝送用の F P U（陸上移動局、携帯局）や、放送本線の伝送を行う番組中継用の固定局が運用されています。これらは地上基幹放送において極めて重要な役割を担っており、今後も業務が支障なく継続できることが必要不可欠です。自動運转向け通信のために周波数共用の可能性等を検討するとしても、行政は既存免許人の意見を十分に聴取したうえで、“既存無線システムに配慮しながら”慎重かつ丁寧に技術検討を行うよう、強く要望します。

以 上